

おはようございます。週のスタートは、曇りです。さて、明日は、第 7 5 回卒業証書授与式。晴れの門出を、気持ちよく送りたいです。こうしたお祝いの日を明日迎えるのですが、先週金曜日の帰りの会には、東日本大震災の黙禱を捧げました。全校で哀悼の意を 1 分間に込めました。いろいろ考えた日でした。平和とは何か。日常とは何か。明日は「明るい日」と書きます。一夜明けた日は、明るい素敵な日となるように。以下は、黙禱前に話した、私の言葉です。

**予餞会の余韻が残る、帰りの会の始めに、すみません。**

**今から、東日本大震災における、哀悼の意を表するための時間をもたせてください。**

**2 0 1 1 年 3 月 1 1 日 午後 2 時 4 6 分、**

**宮城県三陸沖を震源とするマグニチュード 9 . 0 の地震が起き、**

**最大震度 7 を観測し、高さ 1 0 m を超す津波が襲来しました。**

**青森県から千葉県の 6 県で、4 0 万戸を超える住宅が全半壊。死者は 1 万 5 9 0 0 人、**

**現在も行方不明者は 2 5 2 3 人。また、東京電力福島第一原発事故等で、約 3 万 8 0 0 0 人の方々が  
いまだ避難中とされています。**

**一昨日も、岩手県宮古市の海岸では、警察官や海上保安庁の職員など 4 1 名が参加して、熊手など  
を使い、懸命に砂や流木をかき分ける捜索が行われています。**

**震災が発生した同日同時刻、井波中学校は今日のような予餞会の最中でした。**

**富山県への被害は少なかったのですが、この特殊性をもつ災害、そして、現在もご苦労されている  
方々のことを決して忘れてはならず、風化させてはいけないと思います。**

**平和とは何か。日常とは何か。**

**今から、犠牲となった方々をしのび、嘆き悲しむ気持ちを深めるために、1 分間の黙禱をささげたい  
と思います。**

**それでは皆さん、その場で立ってください。**

**眼をつぶり、哀悼の意を表しましょう。 黙禱**

**眼をあけてください。以上で、哀悼の時間を終わります。**